

令和 6（2024）年度事業報告

（令和 6（2024）年 4 月 1 日から令和 7（2025）年 3 月 31 日まで）

I.法人の概況

1. 設立年月日等

平成 11（1999）年 5 月 15 日 研究所開所（社会福祉法人みまき福祉会内）
平成 21（2009）年 2 月 2 日 一般財団法人設立
平成 23（2011）年 3 月 22 日 公益財団法人認定（長野県）
令和 元（2019）年 8 月 31 日 開所 20 周年記念式典

2. 定款に定める目的（定款第 3 条）

この法人は、身体に関わる様々な事象について、従来の保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野を総合させた調査研究・分析評価・教育啓発活動を行い、「からだを育む」ことを通した全ての人々の健康づくりと公共政策づくりに寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容（定款第 4 条）

定款第 4 条に定める事業区分	公益認定に伴う公益目的事業の区分
（1）身体教育医学に関する調査研究	（公 1）身体教育医学に関する調査研究事業
（2）調査研究事業、 健康づくり事業等の受託及び協力	
（3）講演会、健康づくり教室等への講師派遣	（公 2）健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への 講師派遣、相談指導等の教育啓発事業
（4）健康づくりに関する相談及び指導	
（5）講演会、講習会、研究会等の開催	（公 3）法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した 文献の一般公開等による情報発信事業
（6）学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行	
（7）身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧	
（8）その他この法人の目的を達成するために必要な事業	※内容により（公 1）～（公 3）のいずれかに該当

4. 所管官庁に関する事項

長野県 総務部 情報公開・法務課

5. 主たる事務所の状況

長野県東御市布下 6 番地 1 ケアポートみまき内

6. 職員に関する事項（令和 7（2025）年 3 月 31 日現在）

上段：常勤所員、下段：雇用者全員

	職員数 (臨職数)	前期末比増減 (臨職数)	平均 年齢	平均勤続 年数	備考
男 子	3 名(0 名)	0 名(0 名)	46.3	13.3	うち正規雇用 1 名は東御市より派遣
	5 名(2 名)	0 名(0 名)	57.0	9.6	
女 子	5 名(3 名)	1 名(0 名)	47.6	11.6	うち正規雇用 1 名は東御市より派遣
	6 名(4 名)	1 名(0 名)	50.8	10.0	
全 体	8 名(3 名)	1 名(0 名)	47.1	12.3	※平成 25（2013）年度末の状況＜比較＞ 8 名(3 名)、36.8 歳、7.3 年
	11 名(6 名)	1 名(0 名)	53.6	9.8	

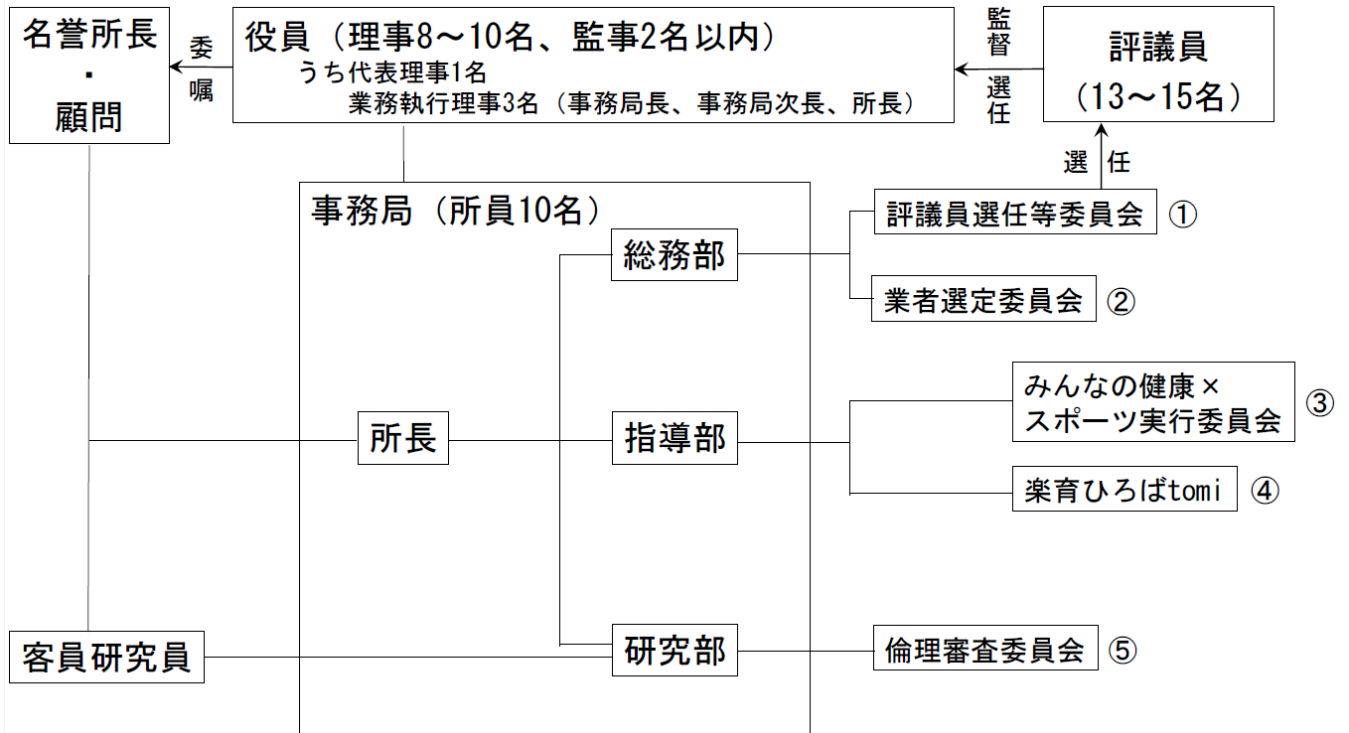
7. 名誉所長、顧問、客員研究員に関する事項（令和7（2025）年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
名誉所長	武藤 芳照	非常勤	一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所・所長
顧問	桂川 保彦	非常勤	株式会社スポーツデザイン研究所・首席研究員
顧問	木村 貞治	非常勤	信州大学医学部保健学科・教授
顧問	中澤 公孝	非常勤	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻・教授
客員研究部長	奥泉 宏康	非常勤	上田市武石診療所・所長
客員研究部長	上岡 洋晴	非常勤	東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻・教授
客員研究部長	小松 泰喜	非常勤	日本大学スポーツ科学部・教授
客員研究部長	朴 眩泰	非常勤	韓国・東亜大学健康管理学科・教授／対外国際庁長
客員研究員	大関 真理子	非常勤	公益財団法人ニッポンドットコム・総務部長
客員研究員	加藤 美絵	非常勤	元身体教育医学研究所・研究員
客員研究員	金藤 理絵	非常勤	東御市企画振興部文化・スポーツ振興課・GMOアスリートパーク湯の丸PR大使
客員研究員	鎌田 真光	非常勤	東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻・准教授
客員研究員	佐藤 照友旭	非常勤	元公益財団法人東京リビック・パブリック競技大会組織委員会・アスリートサービスチーム係長
客員研究員	高橋 亮輔	非常勤	日本大学理工学部・准教授
客員研究員	朴 相俊	非常勤	佐久大学看護学部・教授

8. 役員等に関する事項（令和7（2025）年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
評議員	荒川 玲子	非常勤	NPO 法人うえだミックススポーツクラブ・理事長
評議員	飯島 裕一	非常勤	信濃毎日新聞社・特別編集委員
評議員	岩橋 輝明	非常勤	東御市民病院・院長
評議員	大塚 博文	非常勤	東御市議会・副議長
評議員	掛川 卓男	非常勤	株式会社信州東御市振興公社・取締役総務部長
評議員	加藤 行孝	非常勤	NPO 法人東御市スポーツ協会・会長
評議員	金井 一子	非常勤	東御市民生児童委員協議会・理事
評議員	久堀 周治郎	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・顧問
評議員	後藤 誠	非常勤	東御市工業振興会・代表
評議員	坂江 千寿子	非常勤	佐久大学・学長
評議員	佐藤 千枝	非常勤	長野県議会・議員
評議員	中澤 敏正	非常勤	長野県上田保健福祉事務所・副所長
評議員	山口 千春	非常勤	東御市・教育長
評議員	横山 好範	非常勤	社会福祉法人東御市社会福祉協議会・会長
評議員			
代表理事	田丸 基廣	非常勤	東御市・副市長
業務執行理事	寺田 嘉彦	非常勤	東御市・健康福祉部長
業務執行理事	翠川 昌博	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・理事長
業務執行理事	岡田 真平	常勤	公益財団法人身体教育医学研究所・所長
理事	北湯口 純	非常勤	身体教育医学研究所うなん・管理研究員
理事	工藤 保子	非常勤	大東文化大学スポーツ・健康科学部・准教授
理事	齋藤 文護	非常勤	東御市立みまき温泉診療所・所長
理事	三溝 和子	非常勤	東御市スポーツ推進委員会・代表
理事	田中 千晶	非常勤	東京家政学院大学人間栄養学部・教授
理事	中村 崇	非常勤	一般社団法人健康福祉広域支援協会・代表理事
監事	小林 経明	非常勤	学校法人信学会・理事長
監事	堀内 和子	非常勤	株式会社エフエムとうみ・代表取締役

9. 組織図



※各委員会の構成

①評議員選任等委員会（5人）

評議員1人、監事1人、事務局員1人、外部委員2人

②業者選定委員会（委員長及び委員若干名）

委員長:業務執行理事（事務局次長） 委員:理事1名、評議員1名、監事1名、所長、総務部若干名

③みんなの健康×スポーツ実行委員会（20人以内）

東御市身体障害者福祉協会、東御市手をつなぐ育成会、陽だまりの会、ぴかそくらぶ、はこべの会、東御市、東御市教育委員会、東御市スポーツ推進委員会、(特非)東御市スポーツ協会、(福)みまき福祉会、(福)東御市社会福祉協議会、(福)ちいさがた福祉会、(一社)Sany TOMI、(公財)身体教育医学研究所（事務局）

④楽育ひろば tomi（20人以内）

- (1)公益財団法人身体教育医学研究所関係者
- (2)東御市及び周辺地域の教育・福祉関係者
- (3)東御市役所内関連部署関係者
- (4)識見を有する者

⑤倫理審査委員会（5人以上）

- (1)医学・医療の専門家等、自然科学の有識者が含まれていること
市立みまき温泉診療所（所長）、東京農業大学（教授）
- (2)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者が含まれていること
(福)みまき福祉会（理事長）
- (3)研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者が含まれていること
学識経験者
- (4)委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること
- (5)男女両性で構成されていること
- (6)5人以上であること

II. 事業の状況

1. 事業の実施状況

2024年度は、第4期中期計画の初年度として、掲げた基本的考え【コンセプト】、社会的使命【ミッション】、行動指針【ビジョン】に沿って、当年度の重点課題を定め、たうえで各種事業に取り組んだ。

～基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】～

「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域(信州・東御)から発信する

私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことによって、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

行動指針【ビジョン】 しんたいは、「子どもの育ち」「心身の健康」「みんなのスポーツ」に関わる各領域を個別に捉えることなく、相互に関連づけながら研究と実践を進めていくことを強みとし、地域に密着した独自性のあるシンクタンクとして、核となる各種事業を展開していきます。またその活動により、公益法人として「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成にも貢献します。

まず要旨として、年度当初の事業計画に記載した以下の重点課題に沿って事業の概況を報告する。

<重点課題>

1. 第4期中期計画（2024－2027）初年度で、コロナ禍後の各種活動の再開や新たな展開をふまえて、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）への貢献を両立できるよう取り組む。
2. 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1，3）
3. 行動指針に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

①重点課題（1）

第4期中期計画（2024－2027）初年度で、コロナ禍後の各種活動の再開や新たな展開をふまえて、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）への貢献を両立できるよう取り組む。

2024年度は、正規職員1名（市採用・派遣）を迎え、正規5名を含む常勤所員8名、遠隔含む全体の職員数11名の体制で、所内での役割分担や連携協力、そして地域との協働（楽育ひろば、みんなの健康×スポーツ、Sany TOMI等）による活動の推進などを継続的に取り組んできた。

日常業務では、研究、実践の両面において、幅広いネットワークの中で連携をコーディネートする役割を継続的に担い、調査研究事業と教育啓発事業の展開における当研究所の強みとなっている。今後は、組織体制や活動内容をさらに充実・発展できるよう、地域での特色ある実践と情報発信にさらに精力的に取り組むとともに、シンクタンク機能の強化を進めていく必要がある。

事業規模は、経常収益・経常費用ともに前年度の約7割となったが、これは、大きな予算規模の日本財団助成事業が前年度で終了したことによるものである、特に、開発したアプリの普及を教育啓発事業に位置付けていたことから、公益目的事業2の事業費の縮小が大きかった。

一方、今後地域で求められるであろう取り組みとして、東御市から新たな分野の調査研究や住民支援（健康づくりコンシェルジュ、パラスポーツ学校訪問等）の事業を受けたことから、事業収益としては前年対比152%となった。受取補助金等の大きな減額は、上記記載の通り助成金終了によるものである。

収支全般の状況で報告すべき主な点は次の通り。

【単位：円】

項目	2024年度	2023年度	対前年増減額	前年対比
経常収益計	60,974,480	84,118,238	-23,143,758	72%
うち（公2）教育啓発事業	17,470,067	46,592,546	-29,122,479	37%
事業収益	44,027,047	28,941,361	15,085,686	152%
受取補助金等	5,500,000	44,561,902	-39,061,902	12%
受取寄附金	11,442,133	10,614,748	827,385	108%
経常費用計	56,742,889	85,735,268	-28,992,379	66%
事業費	52,968,228	83,631,592	-30,663,364	63%
当期経常増減額	4,231,591	-1,617,030	5,848,621	-262%
一般正味財産期末残高	16,854,092	12,622,501	4,231,591	134%
指定正味財産期末残高	2,953,400	1,026,000	1,927,400	288%
正味財産期末残高	19,807,492	13,648,501	6,158,991	145%

今年度の当期経常増減額は 4,231,591 円で、昨年度の-1,617,030 円から改善することができ、一般正味財産期末残高が増加した。これに、指定正味財産の増額分を加えて、正味財産期末残高は、前年度の 13,648,501 円から 19,807,492 円へと 6,158,991 円の増額となった。

指定正味財産期末残高が前年度から 1,927,400 円の増額となったのは、パラスポーツ学校訪問を応援する目的寄附として地域から多数の応援を受けたことが主な理由であり、一過性ではあるが「しんたい応援寄附金」的なものを受けることができた。今後は通常事業に対する継続的な応援が受けられるように公益目的事業 1, 2, 3 の充実を図り、賛助会員登録を喚起できるような仕組みをつくり、長期的な資金の見通しが立つ財源を確保して、より安定した持続可能な体制を確立していかなければならない。

②重点課題（2）

事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1，3）

2024 年度は、以前から継続している調査研究に加えて、何件か新たな研究課題に取り組んだ。

東京健康リハビリテーション総合研究所との協働では、「健康・体力づくりのためのスポーツ活動に導く環境整備に関する調査研究」を新たなテーマとして、ヒアリングを中心に、東御市のスポーツ環境に関する調査を行った。また、外部機関との連携では、「介護予防コホート」、「幼児期の全国大規模調査」の継続研究 2 件に加えて、大塚製薬株式会社による「食材と腸内細菌の応答性」の研究の追加調査と、信州大学による「体力向上のための運動習慣定着を促進するアプリ開発」の研究に新たに取り組んだ。

受託の調査研究事業では、市健康推進課・福祉課からの健康づくり・介護予防・地域支援事業関連の評価や、湯の丸高原スポーツコミッションからのモニタリング調査等の継続的な分析の依頼に加えて、湯の丸高原関係で新たに「高地トレーニングに係るデータ集積・分類」、「湯の丸高原スポーツ交流施設屋内運動施設（特設プール）事故再発防止対策委員会・有識者会議」に関わる調査研究業務を受けた。これ以外にも、商工観光課の「ウェルネスツーリズム開発」、人権啓発センター「人権とくらしについての意識調査分析」、そして市福祉課と SMART ふくしラボとで取り組みを始めた「外出支援プログラム『Goトレ』に関するデータ収集・調査分析」など、新たな分野の業務も受けた。一方、これまでも継続して市教育委員会から体力向上支援及び新体力テスト集計分析の業務を受けているが、小中学校の体力低下は東御市の未解消の課題となっており、その克服に向けたさらなる取り組みが必要である。

全国組織である一般社団法人日本転倒予防学会の事務局業務を受託して 3 年目となり、引き続き国内で転倒予防の学術研究と社会啓発を推進するネットワークの要となる機能を担っている。

また、学会の大会長として、第 26 回日本運動疫学会学術総会（佐久大学＜国際セッションのオンライン参加を含む＞225 名参加）、第 18 回信州公衆衛生学会総会（東御市＜台風の影響でオンライン開催に変更＞120 名参加）を主催した。地域住民等を対象とした「しんたい学会」は開催できなかった。

調査研究活動（分担研究・共同研究含む）のアウトプットとしては、自己資金・外部資金による調査研究実績 6 件、学術論文（共著）実績 8 件、編著書 3 件、学会発表 7 件であった。外部機関（佐久大学）との連携により、倫理審査・教育支援や、文部科学省の研究機関の指定等を活用した競争的資金獲得について調整を図った。所員が主体的に取り組む研究の質・量の向上、成果の発信が引き続き課題である。

関係する各種団体への役員等の関わりは 35 件（前年度 30 件）、書籍・新聞・雑誌等への掲載は 33 件（前年度 33 件）であった。

③重点課題（3）

行動指針に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

教育啓発事業の規模を、件数及び対象人数で示すと、

- ・健康づくり事業：455 件（前年度 398 件の 114%、コロナ禍前 2019 年度 484 件の 94%）、6,689 人（前年度 8,985 人の 74%＜立科子ども事業を Sany に移管した影響＞、2019 年度 10,592 人の 63%）、
- ・講演等への講師派遣：112 件（前年度 108 件の 104%、2019 年度 81 件の 138%）、3,207 人（前年度 4,140 人の 77%、2019 年度 3,484 人の 92%）であり、件数に関してはコロナ禍の影響から回復した。

また、直接指導と並行して人材育成を通じた地域貢献に関わる業務が大きい状況は変わらず、中でも、健康づくりに関する相談及び指導に含まれる「楽育ひろば tomi 事業」と『『みんなの健康×スポーツ』実行委員会事業』の 2 つの事業は、いずれも研究所が事業を組み立て、関係機関や地域ボランティア等の積極的な参画を得た取り組みが定着するとともに、市や関連団体の関与もさらに強まってきており、法人が主体的に地域に働きかける事業として重要な位置づけになっている。これらの事業は 91 件（前年度 83 件の 110%）で、3,438 人（前年度 2,930 人の 117%）が参加し、件数・人数ともに増加した。

加えて、深い連携関係にある Sany TOMI の事業は、子どもたちを対象としたプログラムを中心に多岐にわたる活動が定着し、地域との協働による取り組みがより一層充実してきている。

(1) 身体教育医学に関する調査研究

1. 自己資金による調査研究事業

- ① 東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業「健康・体力づくりのためのスポーツ活動に導く環境整備に関する調査研究」(全所員)

2. 外部資金による調査研究事業

- ① 日本農村医学会・農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」(近藤克則<代表>・岡田真平<分担>)
 - ② 東京家政学院大学 科研費基盤研究(B)「全国大規模調査による幼児期の身体活動、座位行動、睡眠と発育・発達指導との関連」(田中千晶<代表>・岡田真平・堤裕美<協力>)
 - ③ 健康・体力づくり事業財団健康運動指導研究助成指定研究「多職種連携による地域全体での運動普及と健康運動指導士の役割に関する研究」(鎌田真光<代表>・岡田真平<共同>)
 - ④ 大塚製薬株式会社共同研究「健常成人を対象とした食事内容が腸内細菌叢の遺伝子発現と食材に対する腸内細菌の応答性に及ぼす影響に関する探索的検討～非盲検試験・腸内細菌由来血中 microRNA の探索的測定～」(岡田真平・半田秀一)
 - ⑤ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業「エビデンスに基づく体力向上のための運動習慣定着を促進するパーソナライズされたアプリの開発」(信州大学、増木静江<代表>・半田秀一・横井佳代<協力>)
-

3. 学術論文

- ① Y Ikeda, A Gotoh-Katoh, **S Okada**, **S Handa**, T Sato, T Mizokami, B Saito. Effect of kaempferol ingestion on physical activity and sleep quality: a double-blind, placebo-controlled, randomized, crossover trial. *Frontiers in Nutrition*, 11, 2024, <https://doi.org/10.3389/fnut.2024.1386389>.
 - ② 齋藤義信, 小熊祐子, 井上茂, R Breugelmans, 菊池宏幸, 岡浩一朗, **岡田真平**, 武田典子, KL Cain, JF Sallis. オンライン観察を用いた街路景観監査の評価者間信頼性: Microscale Audit of Pedestrian Streetscapes (MAPS) グローバルツール日本版. *日本体育大学紀要* 53: 5001-5002, 2024.
 - ③ 大塚美奈子, **堤裕美**. コロナ禍を過ごした幼児の身体意識と運動能力の発達に関する研究－MEPA-R と MKS を指標とした園環境の違いによる比較を通して－. *児童研究* 103, 44-53, 2024.
 - ④ A Kyan, M Takakura, S Tanaka, M Okuda, **S Okada**, C Tanaka. Association between parental education and movement behaviours among young children in Okinawa Prefecture: the SUNRISE Japan study. *発育発達研究* 96: 20-26, 2024.
 - ⑤ 郡司弥恵, 新井彩乃, 高橋優衣香, **岡田真平**, **半田秀一**, **横井佳代**, 中村彩希, 稲山貴代. 健康増進施設に通う地域在住高齢者のフレイル予防を目指した栄養教室の実践報告. *健康支援* 27(1): 31-39, 2025.
 - ⑥ 中崎衣美, 中澤公孝, **岡田真平**, 荒尾孝. 市民公開講座「パラリンピックブレイン-パラリンピアンから学ぶ人間の可能性-」報告. *日本健康教育学会誌* 32(4): 314-318, 2024.
 - ⑦ H Shimura, **S Okada**, K Maruo, K Daimaru, N Deguchi, Y Fujiwara, H Sasai. Comparison of Omron and ActiGraph monitors in estimating daily step counts and time spent in moderate to vigorous physical activity in free-living adults. *BMJ Open Sport & Exerc Med* 2025;11: e002402.
 - ⑧ H Shimura, **S Okada**, K Daimaru, N Deguchi, Y Fujiwara, H Sasai. Concurrent Validity of the Japanese Version of the International Physical Activity Questionnaire Long Form for Assessing Walking Behavior Across Adulthood: Applicability to Older Adults. *Cureus*, 2025, 17.3.
-

4. 編著書

- ① **岡田真平**, 岩橋輝明. 予防教育のための実践モデルの事例⑤長野県東御市の事例. 理学療法士のための学校における運動器疾患・障害の予防教育マニュアルー認定スクールトレーナーの活動の手引き (公益財団法人運動器の健康・日本協会監修), pp174-5, 南江堂, 2024.
 - ② **半田秀一**. ストレッチングの方法・アイシングの方法. 理学療法士のための学校における運動器疾患・障害の予防教育マニュアルー認定スクールトレーナーの活動の手引き (公益財団法人運動器の健康・日本協会監修), pp198-207, 南江堂, 2024.
 - ③ **半田秀一**. 高地での森林散策を通じた体力づくり. へるすあっぷ 21, 2024(7), p25, 法研, 2024.
-

5. 学会発表等

- ① H Shimura, **S Okada**, K Daimaru, N Deguchi, S Awata, H Sasai. Agreement between wrist-
-

worn TDK Silmee W22 and waist-worn ActiGraph wGT3X-BT for estimating daily accumulation of steps and time spent in moderate to vigorous physical activity in adults under free-living settings. 9th International Conference on Ambulatory Monitoring of Physical Activity and Movement, France, June18–21, 2024.

- ② 岡田真平. 社会が求める運動疫学. 第 26 回日本運動疫学会学術集会, 佐久市, 6 月 29-30 日, 2024.
- ③ 田中千晶, 酒井治子, 田中茂穂, 會退友美, 奥田昌之, 高倉実, 岡田真平, JJ Reilly, MS Tremblay, A Okely. 幼児のスクリーンタイムと子育て中の保護者による電子機器類使用との関係～The SUNRISE Japan Study～. 第 26 回日本運動疫学会学術集会, 佐久市, 6 月 29-30 日, 2024.
- ④ 郡司弥恵, 新井彩乃, 高橋優衣香, 岡田真平, 半田秀一, 横井佳代, 中村彩希, 稲山貴代. 健康増進施設に通う地域在住高齢者のフレイル予防を目指した栄養教室の企画・経過評価. 第 32 回日本健康教育学会学術大会, 長野市, 7 月 6-7 日, 2024.
- ⑤ 岡田真平. 地域共生社会の実現に資する身体活動・運動・スポーツ. 第 18 回信州公衆衛生学会総会, 東御市 (WEB), 8 月 31 日, 2024.
- ⑥ 諏訪直人, 岡田真平. しあわせ信州ご当地体操コンテスト 15 年間の成果と課題. 第 18 回信州公衆衛生学会総会 (WEB), 東御市, 8 月 31 日, 2024.
- ⑦ 田中茂穂, 酒井治子, 會退友美, 奥田昌之, 高倉実, 岡田真平, Reilly John, Tremblay Mark, Okely Anthony, 田中千晶. 幼児の認知機能と子育て中の保護者による電子機器類使用との関係－The SUNRISE Japan Study－第 78 回日本体力医学会大会, 佐賀市, 9 月 2-4 日, 2024.

(2) 調査研究事業、健康づくり事業等の受託及び協力

	件数	のべ人数
1. 調査研究事業	計 43 件	計 283 人
① 東御市健康推進課		
1) 5 地区別健康課題資料作成業務	－	－
2) 特定健診データ集計・分析業務	－	－
3) 高齢者保健・介護予防一体的実施事業分析業務	－	－
② 東御市福祉課		
1) 地域支援事業評価分析事業	－	－
③ 東御市文化・スポーツ振興課		
1) 高地トレーニングに係るデータ集積・分類業務	28	100
2) 湯の丸高原プール有識者会議設置及び報告書作成業務	5	97
④ 東御市商工観光課：ウェルネスツーリズム開発等事業業務	10	86
⑤ 東御市人権啓発センター：人権とくらしについての意識調査 調査分析業務	－	－
⑥ 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション：モニタリング業務	－	－
⑦ 一般社団法人 SMART ふくしらボ：Go トレデータ収集・調査分析業務	－	－
2. 健康づくり事業等	計 455 件	計 6689 人
① 東御市健康推進課健康増進係		
1) 出前講座 運動教室等指導事業 (集団)	15	288
2) 特定健診受診者運動教室指導事業 (集団)	15	147
3) 健康づくり運動教室指導事業 (集団)	12	198
4) 健康づくり事業	－	－
5) 糖尿病性腎症重症予防等指導業務	4	24
6) 健康コンシェルジュ事業業務	60	21
② 東御市福祉課地域包括支援係		
1) 介護予防把握事業 (健脚度測定、ずく出し教室) (関係者への指導・助言)	80 5	1097 98
2) 地域リハビリテーション活動支援事業 (出前講座)	20	335
3) オンライン通いの場アプリ「つどエール」利用	－	－
③ 東御市子ども家庭支援課		
1) 運動指導等講師派遣業務	2	51

2) 信州型自然保育等にかかわる活動支援事業	5	187
3) 東御の子ども元気な育ちを支える事業	7	91
4) 子育てフォーラム開催業務	1	787
④ 東御市企画政策部文化・スポーツ振興課		
1) パラスポーツ学校訪問等事業業務	11	699
⑤ 東御市学校教育係		
1) 市内小中学校体力向上支援事業	10	601
2) 小学校新体力テスト集計分析業務	-	-
⑥ 東御市民病院庶務係		
1) みまき温泉診療所 リハビリ指導助手派遣	24	297
2) みまき温泉診療所 リハビリテーション業務	139	743
3) 東御市の各分野における推進・育成サポート業務	-	-
⑦ 東御市社会福祉協議会		
1) くる me	5	190
⑧ 社会福祉法人みまき福祉会 理学療法士派遣		
1) 温泉アクティブセンター	-	-
2) 特別養護老人ホームケアポートみまき	4	48
⑨ 立科町		
1) いきいきストレッチ教室	8	270
⑩ Sany TOMI		
1) カヌー体験	5	100
2) 担当者会議	5	25
3) その他講師派遣	3	75
⑪ その他		
1) 東御市田楽平区健康サロン	11	79
2) 東御市北御牧地区友遊クラブ(みまきっ子体験クラブ)	2	119

(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	計 112 件	計 3207 人
-------------------------------	----------------	-----------------

1. 授業講師		
① 上田女子短期大学	4	80
② 佐久大学	16	302
③ 長野県立大学	1	30
④ 長野救命医療専門学校	15	180
⑤ 東御清翔高等学校	3	72
2. 講演会、健康づくり教室講師：依頼に応じて随時対応（別表）	73	2543

(4) 健康づくりに関する相談及び指導	計 91 件	計 3438 人
----------------------------	---------------	-----------------

1. 楽育ひろば tomi 事業		
里山探検活動「キラキラ」（2-3 歳児の親子活動）	20	365
里山探検活動「ドキドキ」（年中から小 1 の子ども活動）	15	432
里山探検活動「ニコニコ」（親子自然体験活動）	17	643
小学生の里山探検	9	165
ボランティア研修会（安全管理講習、フィールドリーダー会議）	11	101
元気づくり支援金事業 プレーパークプロジェクト	4	305
（講演会 44 名、講座 40 名、視察研修 32 名、フェスティバル 189 名）		
2. 「みんなの健康×スポーツ」実行委員会事業		
とうみユニバーサルスポーツクラブ「わくわくスポーツ」	8	396
第 21 回東御市総合体育大会	1	170
ボッチャ審判等スキルアップ研修	1	93
2024 ボッチャリーグ	3	332

とうみボッチャ 2025	1	349
各種団体親睦球技大会ボッチャ競技支援	1	87

(5) 講演会、講習会、研究会等の開催

1. 第 26 回日本運動疫学会学術総会	6/29-7/1	225
2. 第 18 回信州公衆衛生学会総会（日本健康運動指導士会長野県支部として）	8/31	120

(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行

1. 「外出して、からだを動かし、こころを動かす」	発刊
---------------------------	----

(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧

1. 研究所図書室の充実	図 書 1617 冊 報告書資料 80 冊
--------------	--------------------------

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 各種団体役員等

- 1) 公益財団法人運動器の健康・日本協会理事（岡田真平）
- 2) 社会福祉法人みまき福祉会理事（岡田真平）
- 3) 身体教育医学研究所うなん運営委員（岡田真平）
- 4) NPO 法人日本健康運動指導士会長野県支部長（岡田真平）
- 5) 一般社団法人日本転倒予防学会業務執行理事（岡田真平）
- 6) 一般社団法人日本体力医学会評議員・総務委員（岡田真平）
- 7) 信州公衆衛生学会理事・編集委員（岡田真平）
- 8) 日本運動疫学会理事（岡田真平）
- 9) 日本パラスポーツ学会理事（岡田真平）
- 10) 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事（岡田真平）
- 11) 一般社団法人 Sany TOMI 副理事長（岡田真平）
- 12) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員（岡田真平）
- 13) 高齢化社会一ウエルビーングマネジメントシステム国際標準化委員会委員（岡田真平）
- 14) 東御市スポーツ推進審議会委員（岡田真平）
- 15) とうみユニバーサルスポーツクラブ理事・NPO 法人東御市スポーツ協会評議員（岡田真平）
- 16) 御牧ふれあいの郷づくり協議会生活環境部会長（岡田真平）・青少年育成会部会長（谷貴人）
- 17) 第 82 回国民スポーツ大会東御準備委員会委員・専門部会員（岡田真平・堤裕美）
- 18) みんなの健康×スポーツ実行委員（岡田真平：代表・半田秀一・岡田佳澄）
- 19) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー長野県協議会副会長（半田秀一）
- 20) 日本障がい者スポーツ協会・指導者協議会トレーナー部会北信越ブロック代表（半田秀一）
- 21) 日本パラスポーツトレーナー学会理事（半田秀一）
- 22) 高所トレーニング環境システム研究会専門委員（半田秀一）
- 23) 筑北村二保育園第三者評価委員会委員（堤裕美）
- 24) 一般財団法人上田市スポーツ協会総合企画委員（堤裕美）
- 25) 東御市子育て支援審議会委員（谷貴人）
- 26) 東御市男女共同参画推進委員（谷貴人）
- 27) 北御牧地区友遊クラブ実行委員（実行委員長・谷貴人）
- 28) 楽育ひろば tomi（谷貴人）
- 29) 東信地区障がい者スポーツ指導員協議会監事（岡田佳澄）
- 30) 東御市社会教育委員（岡田佳澄）
- 31) 東御市青少年健全育成審議会委員（岡田佳澄）
- 32) 東御市地域福祉計画・活動計画策定委員会委員（岡田佳澄）
- 33) 東御市いじめ・不登校対策連絡協議会委員（岡田佳澄）
- 34) 東御市立北御牧中学校学校運営協議会委員（岡田佳澄）
- 35) 東御市生活支援協議会委員（横井佳代）

2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載

- 1) 東御市発足 20 周年記念式典に 500 人集う (信州民報、2024. 4. 24)
- 2) 東御市長選後、初の市議会臨時会にて副市長に田丸基廣氏再任 (信州民報、2024. 5. 16)
- 3) 佐久大学学長坂江千寿子氏紹介 (研究所評議員) (介護保険情報、2024. 5. 17)
- 4) 東御市・福祉団体交流会「ボッチャ競技」で交流 8 団体から 110 人参加 (信州民報、2024. 6. 5)
- 5) フレイル予防で健康寿命延伸を 運動・栄養・社会的参加が必要 (信濃毎日新聞、2024. 6. 24)
- 6) 日本運動疫学会 県内で初開催 全国から 200 人参加 (信濃毎日新聞、2024. 7. 2)
- 7) 上田女子短期大学 公開授業「安全対策を学ぶ」講師は谷主任 (信州民報、2024. 7. 6)
- 8) 暑〜い夏休みを元気に過ごそう 武藤名誉所長記事掲載 (信濃毎日新聞、2024. 7. 14)
- 9) 金藤理絵氏 (研究所客員研究員) 市内 5 小学校と東部中学校で水泳指導 (信州民報、2024. 7. 17)
- 10) 楽育ひろば tomi 主催 講演会「プレパークを学ぼう」開催 (信州民報 2024. 7. 18)
- 11) 市発足 20 周年記念事業 企画展「東御の刀鍛冶…宮入法廣へ」 (信州民報、2024. 7. 26)
- 12) ボッチャ国内強豪 千曲市に集う 風神雷神ボッチャリーグ開始 (信濃毎日新聞、2024. 7. 28)
- 13) 体操通じて東御を元気に 地域おこし協力隊 森山雅斗氏紹介 (信濃毎日新聞、2024. 7. 30)
- 14) 菅平夏季大学「子ども時代の運動について」日本体育大学 三宅良輔氏が講演 (信州民報、2024. 8. 2)
- 15) 市内教員らを対象にパラスポーツ研修 上原大祐氏指導 (信州民報、2024. 8. 4)
- 16) 体操楽しい！東御で合宿の日体大生 児童生徒ら市民と交流 (信濃毎日新聞、2024. 8. 31)
- 17) 高齢のボランティアが活躍する里山探検事業を紹介 (月刊健康づくり 9 月号)
- 18) 体づくりを専門家が指導 スクールトレーナー制度を紹介 (信濃毎日小学生新聞、2024. 9. 1)
- 19) 信毎健康フォーラム「運動と健康」岡田所長、横井指導員 講演周知 (信濃毎日新聞、2024. 9. 2)
- 20) 信毎健康フォーラム 少しでも多く体動かして (信濃毎日新聞、2024. 9. 19)
- 21) 信毎健康フォーラム「健康を保つ運動のこつは」講演要旨の紹介 (信濃毎日新聞、2024. 9. 29)
- 22) 体の使い方教える時代「認定スクールトレーナー」始動 (東京新聞、2024. 10. 8)
- 23) 共生社会へ理解深める 東御の子ども 障がい者スポーツで汗 (信濃毎日新聞、2024. 10. 25)
- 24) 子どもとの関わり方を学ぶ「プレイワーク講座」開講 (信濃毎日新聞、2024. 11. 21)
- 25) 第 26 回 日本運動疫学会学術総会のご報告 (運動疫学ニュースレター、2024. 12. 2)
- 26) パラスポーツ楽しく奥深い 市内 5 校 児童が交流 (信濃毎日新聞、2025. 1. 17)
- 27) 「パラ小学祭 in とうみ」に 170 人参加 上原大祐氏と企画 (信州民報、2025. 1. 17)
- 28) 第 18 回信州公衆衛生学会総会の開催報告 (信州公衆衛生学会 News Letter、2025. 1. 29)
- 29) ボッチャで住民交流深めよう ボッチャ交流大会の参加チーム募集 (信濃毎日新聞、2025. 1. 29)
- 30) 和気あいあい「ボッチャ交流大会」お楽しみの部に 24 チーム参加 (信濃毎日新聞、2025. 2. 19)
- 31) 2024 年度「B&G 指導員研修会」谷主任が講義 (B&G 財団 Web、2025. 2. 20)
- 32) 誰もが身近で運動・スポーツに親しめる地域づくりを目指して (スポーツとうみ、2025. 3. 1)
- 33) 突きつけられた「謎」を変えてやる 上原大祐氏 特集記事 (AERA. 2025. 3. 3)

3. その他

- 1) 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 (SPH) インターンシップ荒井一光氏受け入れ (2024. 9. 27-10. 10)
 - 2) 信州スポーツ医療福祉専門学校スポーツトレーナー学科 1 学年 2 名 インターンシップ受け入れ (2025. 3. 5-13)
 - 3) 2025 年度運動器の健康・日本賞 (奨励賞)「多世代で地域の子どもの元気な育ちを支える里山探検活動」楽育ひろば tomi (2025. 2. 10)
-

【別表】

(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣

2. 講演会、健康づくり教室講師 の詳細

実施日	依頼元・依頼事業	場所	内容	担当
【市内】				
1 2024/4/26	東御市更生保護女性会研修会	福祉センター	東御市更生保護女性会研修会	谷
2 2024/5/1	㈱信越精密	㈱信越精密	健康講話	岡田
3 2024/5/28	男女共同参画啓発に関わる事業	東部人権啓発センター	東御市男女共同参画推進委員会	谷
4 2024/6/3	東御市社会福祉協議会・福祉団体交流会	第2体育館	福祉団体ポッチャ交流大会 運営支援	佳澄・笹本
5 2024/6/13	東御市食生活改善推進委員研修会	福祉センター	東御市の健康状況について	岡田
6 2024/7/6	温泉アクティブセンター・会員向け体験講座	明神池	カヌー体験	谷
7 2024/7/11	東御市社協・介護者リフレッシュ交流会	十福の湯	介護者向け腰痛ストレッチ	谷
8 2024/7/17	和小学校教職員	明神池	カヌー体験	谷・堤
9 2024/7/27	温泉アクティブセンター・会員向け体験講座	明神池	カヌー体験	谷
10 2024/7/31	東御市教委・ジュニア・チャレンジ講座	明神池	カヌー体験 (English Camp)	谷・堤
11 2024/9/26	東御市総務課・ゆる10指導	市役所勤労会館	ゆる10指導・資料CD作成	横井
12 2024/10/6	称津地区健康づくり推進委員会	称津御堂ワインブドウ畑	称津地区ウォーキング教室	横井
13 2024/10/9	東御市・男女共同参画啓発に関わる事業	東部人権啓発センター	東御市男女共同参画推進委員会	谷
14 2024/10/23	おひさまこども園	四季の森	里山遊び	谷・堤
15 2024/10/26	田中地区健康づくり推進委員会	田中商店街周辺	田中地区ウォーキング教室	横井
16 2024/10/29	東御市・男女共同参画啓発に関わる事業	東部人権啓発センター	東御市男女共同参画推進委員会	谷
17 2024/10/9	東御市称津小学校PTA	称津小学校	ミニ駅伝大会に向けた『楽しく身体を動かす』講習会	堤・谷
18 2024/10/19	和地区健康づくり推進委員会	和CS〜児玉山	健康づくりウォーキング講座	横井
19 2024/10/20	長野県レクリエーション協会	上田女子短期大学	遊びの森マルシェ	堤
20 2024/11/20	東御市女性学級	芸術むら公園	クアオルト健康ウォーキング	岡田
【県内】				
1 2024/5/18	上小障がい者スポーツ大会委員会	上田城跡公園体育館	上小障がい者スポーツ大会	佳澄・笹本
2 2024/5/21	筑北二保育園 第三者評価委員会	筑北ひまわり保育園	筑北二保育園 第三者評価委員会	堤
3 2024/6/23	筑北二保育園 第三者評価委員会	筑北村ひまわり保育園	筑北二保育園 第三者評価委員会	堤
4 2024/7/4	湯の丸高原ホテル	湯の丸高原ホテル	上田市立中塩田小 ポッチャ体験	半田・佳澄
5 2024/7/11	湯の丸高原ホテル	湯の丸高原ホテル	東御市立田中小 ポッチャ体験	笹本
6 2024/7/12	・高原学習ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	上田市立上田北小 ポッチャ体験 <用具貸出>	-
7 2024/9/18	信濃毎日新聞社・第102回信毎健康フォーラム	信毎メディアガーデン	信毎健康フォーラム「運動と健康」	岡田・横井
8 2024/9/17	湯の丸高原ホテル	湯の丸高原ホテル	ポッチャ体験 <用具貸出>	佳澄
9 2024/9/19	・高原学習ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	上田市立川辺小 ポッチャ体験	佳澄・笹本
10 2024/10/10	長野県版身体活動ガイド改訂事業	長野県庁	長野県版身体活動ガイド委員会	岡田
11 2024/10/18	東信教育事務所・地域共有フォーラム	佐久平交流センター	心身を育む運動遊びの大切さ	岡田
12 2024/10/24	佐久大学 JICAブラジル研修	ケアポートみまき会議室	身体教育医学研究所の活動説明	岡田
13 2024/10/27	湯の丸高原ホテル・ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	ポッチャ体験 <用具貸出>	佳澄
14 2024/11/6	長野県・オールフレイル対策事業	オンライン	第5回オールフレイル対策タスクフォース	横井
15 2024/11/14	長野県版身体活動ガイド改訂事業	オンライン	長野県版身体活動ガイド委員会	岡田
16 2024/12/1	JICA長野県支OB会・ハケ岳ワールドもちつき祭	南牧村	ハケ岳ワールドもちつき祭 ポッチャ	佳澄
17 2024/12/3	立科町介護予防講座	老人福祉センター	介護予防講座 高齢期からの運動と仲間づくりのススメ	岡田
18 2024/12/10	上田市スポーツ協会	高砂殿	上田市スポーツ協会 表彰式	堤
19 2024/12/10	筑北二保育園 第三者評価委員会	筑北ひまわり保育園	筑北二保育園 第三者評価委員会	堤
20 2024/12/16	筑北二保育園 第三者評価委員会	坂井保育園	筑北二保育園 第三者評価委員会	堤
21 2024/12/24	長野県版身体活動ガイド改訂事業	オンライン	長野県版身体活動ガイド委員会	岡田
22 2025/1/11-12	新国立劇場バレエ団医療支援事業	上田市サントミュージゼ	新国立劇場バレエ団医療支援	岡田・横井・都方
23 2025/1/30	長野県版身体活動ガイド改訂事業	長野県庁	長野県版身体活動ガイド委員会	岡田
24 2025/2/3	長野県健康づくり健康づくり推進県民会議	オンライン	長野県健康づくり健康づくり推進県民会議	岡田
25 2025/3/14	御代田町保健福祉課地域包括支援係 生きがい教室	エコールみよた あつもりホール	生きがい教室「楽しく体を動かそう!⑥」	横井
26 2025/3/	長野県版身体活動ガイド改訂事業	長野県庁	長野県版身体活動ガイド委員会	岡田
【県外】				
1 2024/5/30	産総研・ウェルビーイング・マネジメントシステム検討	オンライン	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
2 2024/7/9	日本体育大学・野外活動実習	明神池	野外活動実習	谷他
3 2024/7/9	JPSA障がい者スポーツ指導者協議会	オンライン	第1回トレーナー部会	半田
4 2024/7/20	一社)日本理学療法学会連合	日本理学療法士協会	倫理委員会外部委員	岡田
5 2024/7/25	東京大学・野外活動実習	明神池	野外活動実習	谷・堤
6 2024/7/30	(公財)健康・体力づくり事業財団	オンライン	健康運動指導士養成カリキュラム検討会議	岡田
7 2024/8/8	産総研・ウェルビーイング・マネジメントシステム検討	オンライン	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
8 2024/8/19	株式会社アントレース・取材協力	身体教育医学研究所	取材協力・セゾンのくらし大研究「フレイル予防運動」コンテンツ制作	横井
9 2024/8/10	JPSA日本パラスポーツ協会	J-STARプロジェクト三重会場	ジャパン・ライジングスター・プロジェクト	半田
10 2024/9/23	JPSA日本パラスポーツ協会	J-STARプロジェクト新潟会場	ジャパン・ライジングスター・プロジェクト	半田
11 2024/10/24	佐久大学	ケアポートみまき	JICA日系社会研修	岡田
12 2024/11/12	香川県庁	東御市内各所	長野県健康づくり施策視察研修	岡田
13 2024/11/18	(公財)健康・体力づくり事業財団	オンライン	健康運動指導士養成カリキュラム検討会議	岡田
14 2024/12/1	日本健康運動指導士会	岐阜市生涯学習センター	運動指導における社会的つながりの重要性	岡田
15 2025/1/25	一社)日本理学療法学会連合	日本理学療法士協会	倫理委員会外部委員	岡田
16 2025/1/28	東京大学教育学部	東京大学教育学部	地域におけるスポーツ指導	岡田
17 2024/2/14	(公財)B&G財団	イノホール	B&G指導員研修会	谷

2. 役員会等に関する事項

【理事会、評議員会等】

令和6年 5月25日（土）	第1回理事会（ケアポートみまき：理事8名、監事2名、名誉所長1名、事務局3名）
	決議事項 第1号議案：令和5年度事業報告及び決算について 第2号議案：評議員及び理事・監事の推薦について 第3号議案：名誉所長・顧問・客員研究員の推薦について 第4号議案：令和6年度定時評議員会の招集について
	報告事項 前回議事 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告及び予定 給与規程の改定に関する専決処分 評議員の選任 御寄附の報告
	6月25日（火） 定時評議員会（北御牧公民館：評議員12名、理事4名、監事1名、事務局3名）
6月25日（火）	決議事項 第1号議案：令和5年度事業報告及び決算の承認 第2号議案：理事・監事の選任について
	報告事項 第4期中期計画 令和6年度事業計画・予算と役職員の体制
11月16日（土）	第2回理事会（書面決議：理事10名）
	決議事項 第1号議案：代表理事等の選任について
	第3回理事会（ケアポートみまき：理事9名、監事1名、名誉所長1名、事務局3名）
	決議事項 第1号議案：令和6年度第1次補正予算について 報告事項 第1回議事 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告及び予定 令和6年度事業中間報告及び上半期決算報告 ホームページの運営状況 御寄附の報告
令和7年 3月14日（金）	第4回理事会（ケアポートみまき：理事9名、監事1名、名誉所長1名、事務局6名）
	決議事項 第1号議案：令和7年度事業計画・予算について 第2号議案：資金調達及び設備投資の見込みについて 第3号議案：育児休業等及び介護休業等に関する規則の改定について 報告事項 前回議事 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 令和6年度事業中間報告及び決算見込み 当法人の収支相償に係る事業運営方針に関する県への報告 ホームページの運営状況 ご寄附者報告及び寄附目的に応じた特定資産の事業活用

【代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告】

No.	日程	職務内容	担当理事
1	4月01日（月）	辞令交付、年度始め式	田丸・寺田・翠川・岡田
2	4月21日（日）	東御市発足20周年記念式典	田丸・寺田・翠川・岡田
3	4月23日（火）	東京都町田市議会議員視察対応	翠川・岡田
4	4月25日（木）	東京健康リハ総研・研究所うなん合同会議	寺田・岡田
5	5月07日（火）	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・寺田・翠川・岡田
6	5月14日（火）	東方久男顧問公認会計士会計指導	岡田
7	5月15日（水）	法人決算監査	寺田・岡田
8	5月23日（木）	業務執行理事会	田丸・寺田・翠川・岡田
9	5月25日（土）	令和6年度第1回理事会	田丸・寺田・翠川・岡田
10	6月05日（水）	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
11	6月06日（木）	（一社）Sany TOMI 理事会	岡田

12	6月07日(金)	(一社)とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事会	田丸・岡田
13	6月10日(月)	東御市議会全員協議会決算説明	田丸・寺田・翠川・岡田
14		島根県雲南市防災部長・健康福祉部長視察対応	田丸・寺田・翠川・岡田
15	6月19日(水)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・寺田・翠川・岡田
16	6月24日(月)	(一社) Sany TOMI 総会	岡田
17	6月25日(火)	令和6年度定時評議員会	田丸・寺田・翠川・岡田
18		令和6年度第2回理事会(書面決議)	
19	6月28日(金)	(一社)とうみ湯の丸高原スポーツコミッション総会	田丸・岡田
20	6月30日(日)	武藤名誉所長と山岸長野県議会議長との懇談会	田丸・岡田
21	7月16日(火)	島根県雲南市議会教育民生常任委員会視察対応	寺田・翠川・岡田
22	7月19日(金)	身体教育医学研究所うなん運営委員会	寺田・岡田
23	7月22日(月)	長野県・監督官庁による公益法人定期立入検査	翠川・岡田
24	8月05日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・寺田・翠川・岡田
25	9月5-6日(木・金)	東京健康リハビリテーション総合研究所合宿受入	田丸・寺田・翠川・岡田
26	9月13日(金)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・寺田・翠川・岡田
27	9月27日(金)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
28	10月08日(火)	業務執行理事会・所員全体会議・東大インターン報告	田丸・寺田・翠川・岡田
29	10月22日(火)	みまき温泉診療所30周年記念誌対談	田丸・岡田
30	10月24日(木)	佐久大学 JICA ブラジル研修生の視察対応	翠川・岡田
31	11月07日(木)	(一社) Sany TOMI 理事会	岡田
32	11月13日(水)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・寺田・翠川・岡田
33	11月16日(土)	令和6年度第3回理事会	田丸・寺田・翠川・岡田
34	11月17日(日)	武藤名誉所長と宮入刀匠との懇談会	田丸・岡田
35	11月19日(火)	(一社)とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事会	田丸・岡田
36	11月24日(土)	第4回介護予防住民指導者フォーラム in 長野(東御)	寺田・翠川
37	11月27日(水)	社会福祉法人みまき福祉会役員等合同懇談会	翠川・岡田
38	11月29日(金)	日本財団助成事業監査	翠川・岡田
39	12月16日(月)	湯の丸高原屋内プール有識者会議立ち上げ打合せ	田丸・岡田
40	12月18日(水)	プール事故再発防止対策委員会	田丸・岡田
41		業務執行理事会・研究所員全体会議・望年会	田丸・寺田・翠川・岡田
42	12月25日(水)	ケアポートみまきリニューアル竣工・祝賀会	田丸・寺田・翠川・岡田
	令和7年		
43	1月06日(月)	仕事始め式	田丸・寺田・翠川・岡田
44	1月07日(火)	東京健康リハビリテーション総合研究所新年打合せ	岡田
45	1月14日(火)	パラ小学祭 in とうみ	田丸・岡田
46		業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・寺田・翠川・岡田
47	1月24日(金)	身体教育医学研究所うなん運営委員会	岡田
48	1月31日(金)	湯の丸高原屋内プール第1回有識者会議	田丸・岡田
49	2月14日(金)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・寺田・翠川・岡田
50	2月15日(土)	とうみボッチャ2025	寺田・岡田
51	2月19日(水)	クアオルト健康ウォーキングコース開発打合せ	寺田・岡田
52	2月20日(木)	(一社) Sany TOMI 理事会	岡田
53	2月28日(金)	湯の丸高原屋内プール第2回有識者会議	岡田
54	3月05日(水)	東京健康リハビリテーション総合研究所へ2市合同訪問	岡田
55	3月13日(木)	湯の丸高原屋内プール第3回有識者会議	田丸・岡田
56	3月14日(金)	令和6年度第4回理事会	田丸・寺田・翠川・岡田
57	3月15日(土)	ケアポートみまき30周年記念式典・祝賀会	田丸・寺田・翠川・岡田
58	3月16日(日)	島根県雲南市西村副市長他東御市内視察対応	岡田
59	3月17日(月)	ウェルビーイング重視社会 ISO 委員会関係者受入	田丸・岡田
60	3月26日(水)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田

3. 各年度末の正味財産、経常収益、経常費用、人件費率、固定資産の推移

図1 正味財産期末残高の推移（公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

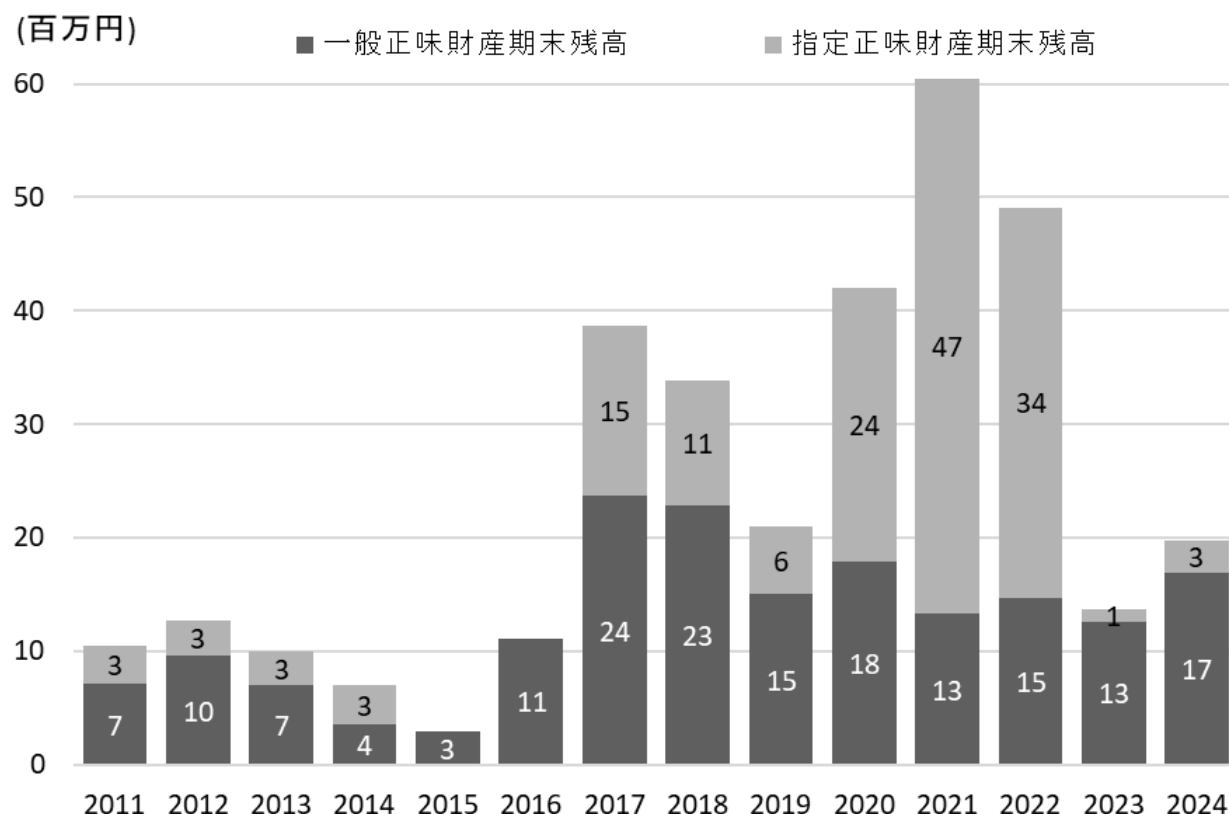


図2 経常収益の推移①（公益目的事業区分別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

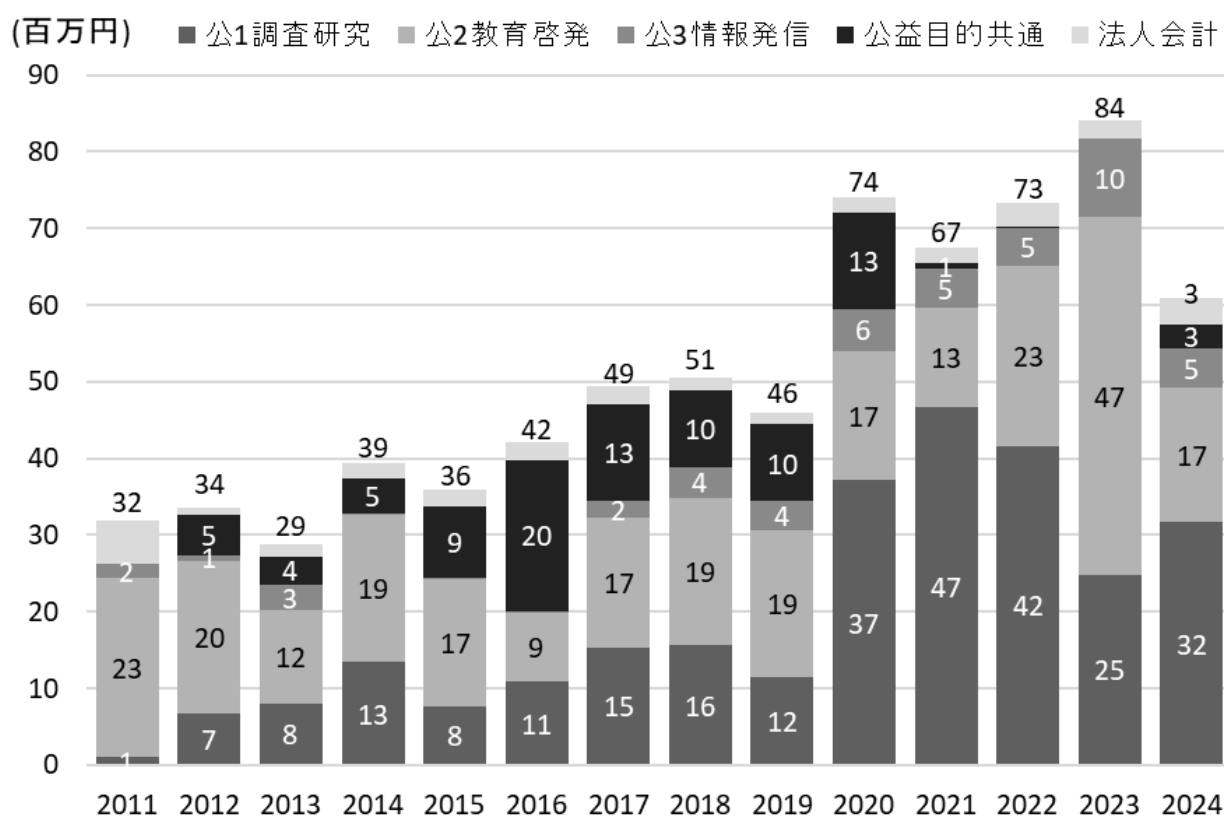


図3 経常収益の推移②（大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

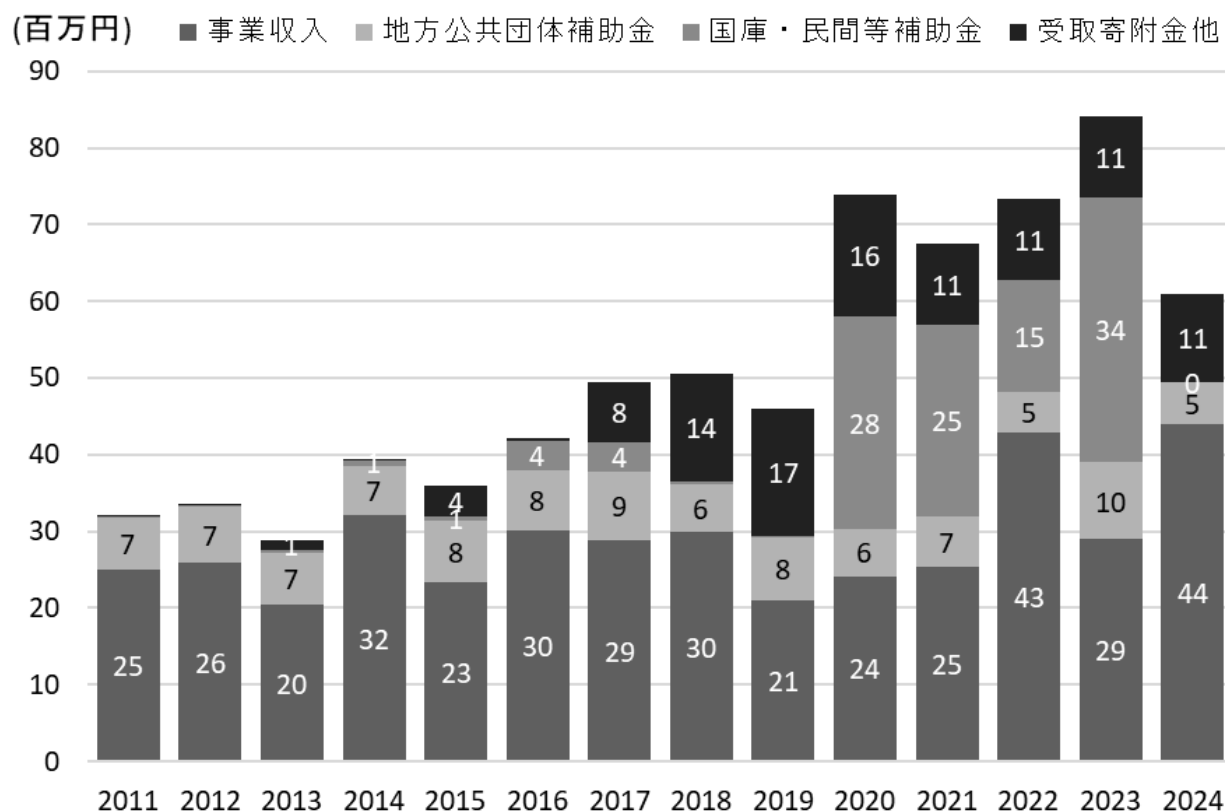


図4 経常費用および人件費率の推移（大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

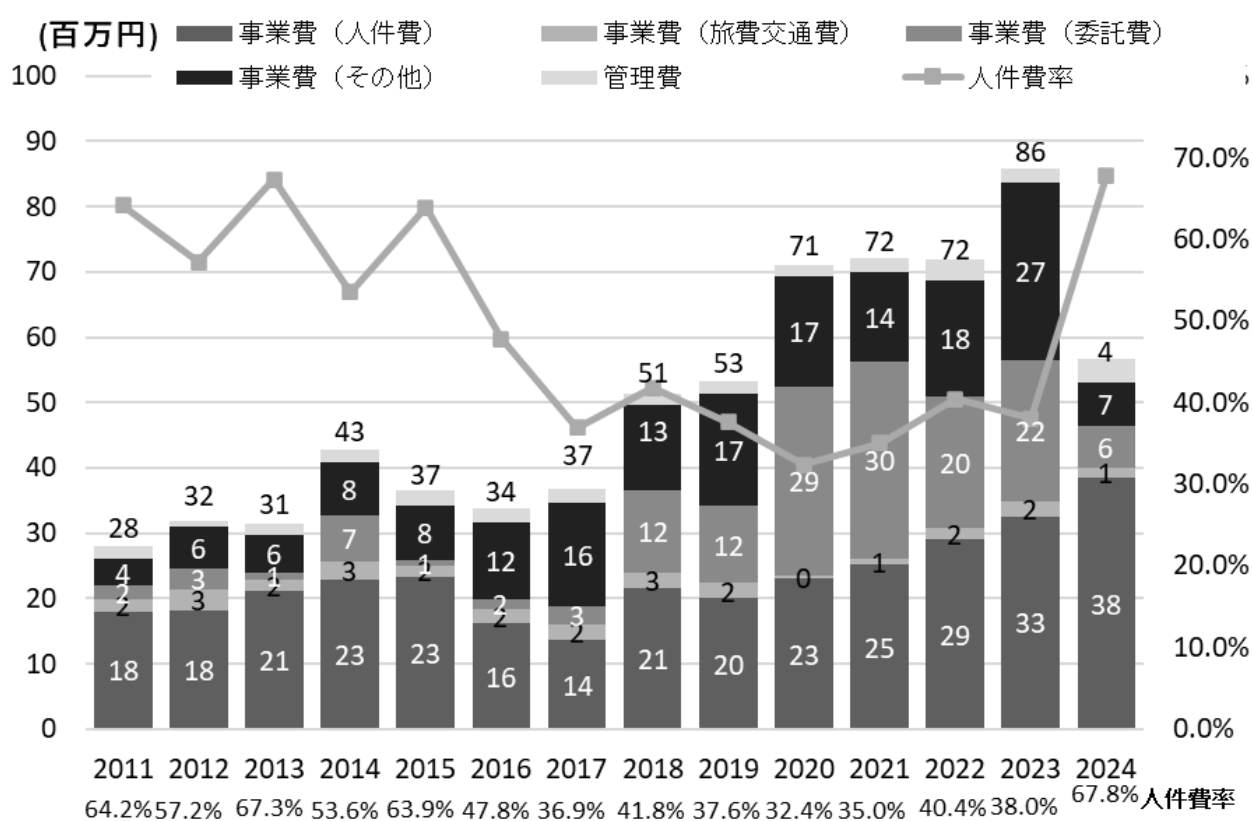


図5 固定資産の推移（公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

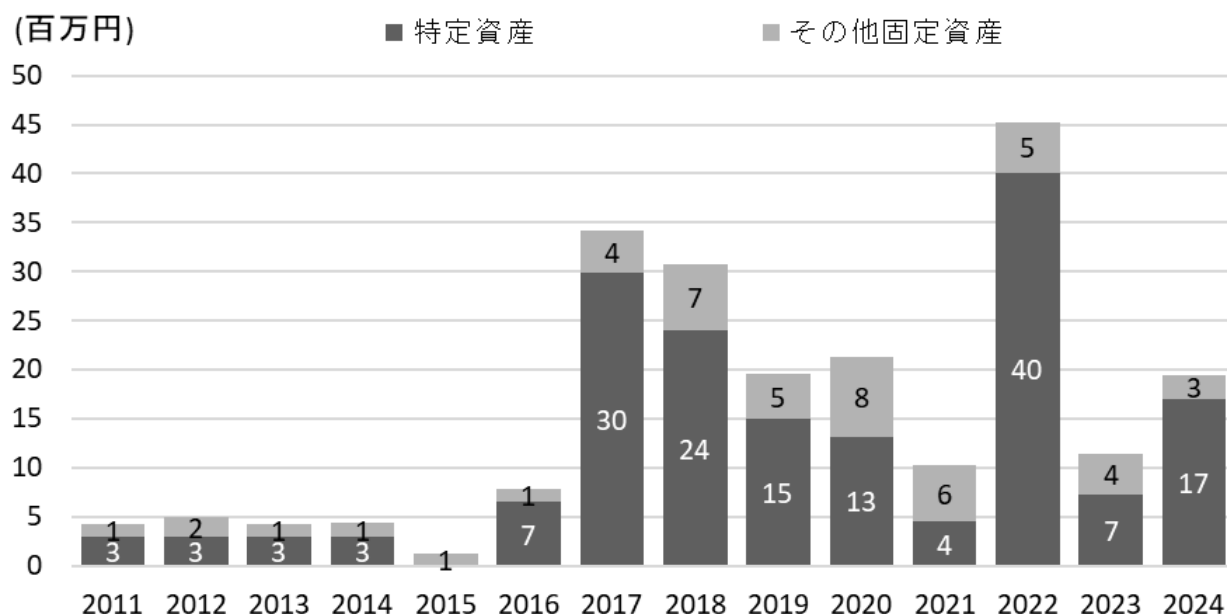


表 各年度で特記すべき規模（100 万円以上）の補助金・助成金・支援金・委託費・寄附金等

年度	東御市 ※毎年の補助・委託は省略		長野県	国	民間	寄附
	健康福祉関係 (補助金以外)	スポーツ関係 (外部含む)				
2011			元気づくり、 新しい公共			
2012			元気づくり、 新しい公共			
2013	健康課題調査	施設誘致	元気づくり			
2014	健康課題調査	施設誘致				
2015		施設誘致				
2016	子ども研究	プロモーション		厚労省支援事業	日本財団	
2017		プロモーション、 国際シンポ	元気づくり		健体財団	戸部貞信様、 匿名遺贈受付
2018		日本水泳連盟				戸部貞信様、 匿名遺贈支出
2019		日本水泳連盟	元気づくり			戸部貞信様、 匿名遺贈支出
2020	健康づくり動画	日本水泳連盟、 モニタリング	元気づくり	スポーツ庁支援、 経産省給付金、 中小庁給付金	日本財団、 B&G 財団、 健体財団	戸部貞信様、 匿名遺贈支出
2021	ワクチン接種	インナー施策、 モニタリング	元気づくり		日本財団、 B&G 財団	戸部貞信様
2022	ワクチン接種				日本財団、 B&G 財団	戸部渉様
2023	ワクチン接種		元気づくり		日本財団	戸部渉様
2024	コンシェルジュ、 Go トレ検証	ツーリズム、 高トレデータ、 パラ学校訪問				戸部渉様、 浅間山麓

Ⅲ. 法人の今後

第4期中期計画で掲げた事業展開に沿って、現在取り組んでいる事業の状況や今後の課題等を列記する。

子どもたちの元気な育ちを応援

- 「楽育ひろば tomi」は、里山探検を中心に10年を超える活動の積み重ねがあり、現在、四季の森と芸術むら公園周辺の2拠点で、子どもたちの主体的な活動と元気な育ちを支える場・機会を提供している。その成果を改めて示すとともに、今後も活動が発展・持続するための体制の充実・強化が必要である。
- 保育園の運動あそび支援、小中学校の体力向上支援に長く関わっているが、東御市における小中学校の体力低下の課題は解消できていない。小中学校における新体力テストの活用、認定スクールトレーナー等の支援、学校でのパラスポーツ実施、日体大体操部の学校訪問、小学校遊び場調査等の関わりや、公立保育園における運動あそび・運動能力評価支援等が、それぞれ個別の取り組みではなく相互に関連付いた一体的な健康づくり支援として現場に受け入れやすい形で定着できるようにし、成果に繋げる。

前向きになれる健康づくりを後押し

- 地域在住高齢者を対象としたアウトリーチ型の「ずくだし教室」や、中高年をはじめとする全世代に対する「健康づくりコンシェルジュ」等の事業で、健康づくり支援の対象を広げている。一方で、関わりが十分でない対象への行動変容・健康づくり支援について、改めてターゲットの明確化やアプローチ方法の検討が必要である。

みんなのスポーツで地域を元気に

- ユニバーサルスポーツは、ボッチャの地域展開と、車いすスポーツ等の学校展開を中心に、実施機会がさらに拡大しており、幅広い対象へのスポーツ振興とともに、障がい有無や世代を超えたスポーツによる交流機会の拡大に寄与している。この取り組みに伴う成果を明らかにすることで、地域内での継続・定着と、地域外への普及・拡大が望まれる。
- 湯の丸高原での高地トレーニングを安全かつ効果的に実施できるよう、最低限必ず理解しておくことが必要と考えられる情報提供を行うとともに、実施者の状況、トレーニングの目的・内容等に応じてフォローすべき点について対応できる体制を整えることで、湯の丸がより有効活用されるようにする。

第4期中期計画の年度ごとの各活動の展開の見通し

		2024	2025	2026	2027
子どもたちの 元気な育ちを 応援	自然体験・外遊び活動 の環境充実を図る	●新たな活動拠点の環境整備		●持続可能な事業体制づくり	
		☆自然体験活動等の効果検証		☆長期効果に関する研究発表	
	元気な心身を育む 取り組みを支える	●第三の居場所含む支援の検討		●保小中地域の包括的な支援	
		☆育ちのデータベースづくり		☆事業成果に関する研究発表	
前向きになれる 健康づくりを 後押し	健康寿命延伸・健康 格差縮小に貢献する	●行動科学の最良知見を活用した行動変容・健康づくり支援の実践			
		☆健康寿命延伸を目指した地域での継続的な取り組みの効果検証			
	地域包括ケア充実の 連携強化に寄与する	●地域の主体的な取り組みのサポート ●多職種・多分野連携支援			
		☆2025 年→2040 年を見据えた地域包括ケア関連指標動向の検証			
みんなの スポーツで 地域を 元気に	ユニバーサルスポーツ の機会を拡大する	●ユニバーサルスポーツの拡大		●機会拡大への広域的な貢献	
		☆普及に伴う様々な効果の探索		☆事業成果に関する研究発表	
	高地等スポーツ医科学 サポート体制を作る	●幅広いアスリートの競技力向上への貢献と健康づくりへの還元			
		☆高地医科学サポート効果検証		☆事業成果に関する研究発表	

表内の記載の区分： ●地域での実践， ☆社会への発信

決 算 報 告 書

第 18 期

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

公益財団法人 身体教育医学研究所

貸借対照表

公益財団法人身体教育医学研究所

令和6年 3月31日現在 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔資産の部〕			
【流動資産】			
現金預金	4,183,172	2,516,160	1,667,012
未収金	7,807,316	7,196,283	611,033
流動資産合計	11,990,488	9,712,443	2,278,045
【固定資産】			
(特定資産)			
公益目的事業積立資産	3,000,000	3,000,000	0
介護予防事業外部団体支援積立資産	1,103,400	1,026,000	77,400
調査研究事業積立資産	9,000,000	0	9,000,000
退職給付引当資産	3,843,512	3,187,962	655,550
特定資産合計	16,946,912	7,213,962	9,732,950
(その他固定資産)			
車両運搬具	4	4	0
什器備品	1,938,028	3,469,972	△ 1,531,944
ソフトウェア	230,450	322,630	△ 92,180
権利	348,212	387,633	△ 39,421
その他固定資産合計	2,516,694	4,180,239	△ 1,663,545
固定資産合計	19,463,606	11,394,201	8,069,405
資産合計	31,454,094	21,106,644	10,347,450
〔負債の部〕			
【流動負債】			
未払金	4,956,045	3,490,279	1,465,766
預り金	529,096	773,902	△ 244,806
賞与引当金	2,317,949	0	2,317,949
流動負債合計	7,803,090	4,270,181	3,532,909
【固定負債】			
退職給付引当金	3,843,512	3,187,962	655,550
固定負債合計	3,843,512	3,187,962	655,550
負債合計	11,646,602	7,458,143	4,188,459
〔正味財産の部〕			
【指定正味財産】			
寄附金	2,953,400	1,026,000	1,927,400
指定正味財産合計	2,953,400	1,026,000	1,927,400
(うち特定資産への充当額)	(1,103,400)	(1,026,000)	△ 77,400
【一般正味財産】	16,854,092	12,622,501	4,231,591
(うち特定資産への充当額)	(12,000,000)	(3,000,000)	△ 9,000,000
正味財産合計	19,807,492	13,648,501	6,158,991
負債及び正味財産合計	31,454,094	21,106,644	10,347,450

令和6年度正味財産増減計算書

公益財団法人身体教育医学研究所

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	877	73	804
特定資産受取利息	877	73	804
事業収益	44,027,047	28,941,361	15,085,686
受託協力事業収益	38,917,371	23,391,445	15,525,926
講師派遣事業収益	3,917,287	4,847,288	△ 930,001
研究会等開催事業収益	0	493,000	△ 493,000
出版物用発刊事業収益	742,938	75,291	667,647
その他事業収益	449,451	134,337	315,114
受取補助金等	5,500,000	44,561,902	△ 39,061,902
受取地方公共団体補助金	5,350,000	10,068,000	△ 4,718,000
受取民間補助金	150,000	500,000	△ 350,000
受取補助金等振替額	0	33,993,902	△ 33,993,902
受取寄附金	11,442,133	10,614,748	827,385
受取寄附金	11,319,533	10,500,748	818,785
受取寄附金等振替額	122,600	114,000	8,600
雑収益	4,423	154	4,269
受取利息	4,423	154	4,269
経常収益計	60,974,480	84,118,238	△ 23,143,758
(2) 経常費用			
事業費	52,968,228	83,631,592	△ 30,663,364
給料手当	20,542,347	17,947,887	2,594,460
臨時雇賃金	9,368,616	9,469,163	△ 100,547
退職給付費用	1,375,550	1,220,895	154,655
法定福利費	3,737,359	3,862,404	△ 125,045
福利厚生費	68,025	93,640	△ 25,615
旅費交通費	1,464,417	2,244,011	△ 779,594
通信運搬費	153,979	93,000	60,979
減価償却費	1,813,545	1,434,787	378,758
消耗品費	148,313	315,472	△ 167,159
書籍費	97,404	75,085	22,319
修繕費	202,621	327,014	△ 124,393
印刷製本費	410,488	1,915,608	△ 1,505,120
燃料費	824,003	615,499	208,504
光熱水料費	687,000	757,000	△ 70,000
賃借料	167,850	15,968,900	△ 15,801,050
保険料	339,465	307,899	31,566
諸謝金	1,871,968	2,531,170	△ 659,202
租税公課	2,036,250	1,347,600	688,650
支払負担金	334,030	314,990	19,040
会議費	144,026	202,238	△ 58,212
委託費	6,405,426	21,706,280	△ 15,300,854
雑費	775,546	881,050	△ 105,504
管理費	3,774,661	2,103,676	1,670,985
役員報酬	123,900	135,300	△ 11,400
給料手当	480,000	480,000	0
臨時雇賃金	2,613,070	1,053,805	1,559,265
法定福利費	312,420	148,456	163,964
会議費	2,040	28,766	△ 26,726
旅費交通費	136,870	141,300	△ 4,430
通信運搬費	1,572	0	1,572
消耗品費	110	0	110
租税公課	0	450	△ 450
支払負担金	38,104	0	38,104
雑費	66,575	115,599	△ 49,024
経常費用計	56,742,889	85,735,268	△ 28,992,379
評価損益等調整前当期経常増減額	4,231,591	△ 1,617,030	5,848,621
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,231,591	△ 1,617,030	5,848,621
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,231,591	△ 1,617,030	5,848,621
一般正味財産期首残高	12,622,501	14,239,531	△ 1,617,030
一般正味財産期末残高	16,854,092	12,622,501	4,231,591
II 指定正味財産増減の部			
受取民間補助金等	0	△ 389,000	389,000
受取民間補助金返還額	0	△ 389,000	389,000
受取寄附金	2,050,000	640,000	1,410,000
受取寄附金	2,050,000	640,000	1,410,000
一般正味財産への振替額	△ 122,600	△ 34,107,902	33,985,302
一般正味財産振替民間補助金	0	△ 33,993,902	33,993,902
一般正味財産振替寄付金	△ 122,600	△ 114,000	△ 8,600
当期指定正味財産増減額	1,927,400	△ 33,856,902	35,784,302
指定正味財産期首残高	1,026,000	34,882,902	△ 33,856,902
指定正味財産期末残高	2,953,400	1,026,000	1,927,400
III 正味財産期末残高	19,807,492	13,648,501	6,158,991

令和6年度正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人身体教育医学研究所

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計 (A)	前年度 決算(B)	差異 (A-B)	当年度 予算(C)	遂行率 (A/C)
	公1:調査研究	公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計						
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益	0	0	0	877	877	0	877	73	804	0	*
特定資産受取利息				877	877	0	877	73	804	0	*
事業収益	23,722,950	16,692,720	140,043	7,689	40,563,402	3,463,645	44,027,047	28,941,361	15,085,686	43,073,000	102%
受託協力事業収益	22,857,215	12,596,511			35,453,726	3,463,645	38,917,371	23,391,445	15,525,926	39,811,000	98%
講師派遣事業収益	265,340	3,651,947			3,917,287		3,917,287	4,847,288	△ 930,001	2,484,000	158%
研究会等開催事業収益					0		0	493,000	△ 493,000		*
出版物用発刊事業収益	600,395	2,500	140,043		742,938		742,938	75,291	667,647	128,000	580%
その他事業収益		441,762		7,689	449,451		449,451	134,337	315,114	650,000	*
受取補助金等	0	500,000	5,000,000	0	5,500,000	0	5,500,000	44,561,902	△ 39,061,902	5,500,000	100%
受取地方公共団体補助金		350,000	5,000,000		5,350,000		5,350,000	10,068,000	△ 4,718,000	5,350,000	100%
受取民間補助金		150,000			150,000		150,000	500,000	△ 350,000	150,000	100%
受取補助金等振替額					0		0	33,993,902	△ 33,993,902		*
受取寄附金	8,000,000	277,347	0	3,164,786	11,442,133	0	11,442,133	10,614,748	827,385	11,267,000	102%
受取寄附金	8,000,000	154,747		3,164,786	11,319,533		11,319,533	10,500,748	818,785	11,165,000	101%
受取寄附金振替額		122,600			122,600		122,600	114,000	8,600	102,000	*
雑収益	0	0	0	0	0	4,423	4,423	154	4,269	2,000	221%
利子収益					0	4,423	4,423	154	4,269	2,000	221%
経常収益計	31,722,950	17,470,067	5,140,043	3,173,352	57,506,412	3,468,068	60,974,480	84,118,238	△ 23,143,758	59,842,000	102%
(2) 経常費用											
事業費	23,816,282	18,610,432	5,608,817	4,932,697	52,968,228		52,968,228	83,631,592	△ 30,663,364	54,849,000	97%
給料手当	7,347,089	8,919,310	4,275,948		20,542,347		20,542,347	17,947,887	2,594,460	18,966,000	108%
臨時雇賃金	5,549,641	3,818,975			9,368,616		9,368,616	9,469,163	△ 100,547	8,787,000	107%
退職給付費用	334,185	801,365	240,000		1,375,550		1,375,550	1,220,895	154,655	720,000	191%
法定福利費	1,634,275	1,412,580	690,504		3,737,359		3,737,359	3,862,404	△ 125,045	4,309,000	87%
福利厚生費				68,025	68,025		68,025	93,640	△ 25,615	274,000	25%
旅費交通費	456,000	472,256		536,161	1,464,417		1,464,417	2,244,011	△ 779,594	1,637,000	89%
通信運搬費	2,740	14,188		137,051	153,979		153,979	93,000	60,979	197,000	78%
減価償却費	1,312,469	287,970		213,106	1,813,545		1,813,545	1,434,787	378,758	1,634,000	111%
消耗品費	21,486	75,073		51,754	148,313		148,313	315,472	△ 167,159	111,000	134%
書籍費	6,270	28,360		62,774	97,404		97,404	75,085	22,319	65,000	150%
修繕費				202,621	202,621		202,621	327,014	△ 124,393	272,000	74%
印刷製本費	560	89,222		320,706	410,488		410,488	1,915,608	△ 1,505,120	986,000	42%
燃料費	3,884	17,886		802,233	824,003		824,003	615,499	208,504	677,000	122%
光熱水料費				687,000	687,000		687,000	757,000	△ 70,000	757,000	91%
賃借料				167,850	167,850		167,850	15,968,900	△ 15,801,050	203,000	83%
保険料	21,600	69,875		247,990	339,465		339,465	307,899	31,566	404,000	84%
諸謝金	403,248	1,357,350		111,370	1,871,968		1,871,968	2,531,170	△ 659,202	1,588,000	118%
租税公課	1,081,938	917,648	6,365	30,299	2,036,250		2,036,250	1,347,600	688,650	1,392,000	146%
支払負担金	216,420	117,610			334,030		334,030	314,990	19,040	403,000	83%

	科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計 (A)	前年度 決算(B)	差異 (A-B)	当年度 予算(C)	遂行率 (A/C)	
		公1:調査研究	公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計							
43	会議費	34,806	81,250		27,970	144,026		144,026	202,238	△ 58,212	65,000	222%	43
44	委託費	5,287,867	26,000	396,000	695,559	6,405,426		6,405,426	21,706,280	△ 15,300,854	10,864,000	59%	44
45	雑費	101,804	103,514		570,228	775,546		775,546	881,050	△ 105,504	508,000	153%	45
46	管理費						3,774,661	3,774,661	2,103,676	1,670,985	3,711,000	102%	46
47	役員報酬						123,900	123,900	135,300	△ 11,400	182,000	68%	47
48	給料手当						480,000	480,000	480,000	0	480,000	100%	48
49	臨時雇賃金						2,613,070	2,613,070	1,053,805	1,559,265	2,320,000	113%	49
50	法定福利費						312,420	312,420	148,456	163,964	351,000	*	50
51	会議費						2,040	2,040	28,766	△ 26,726	45,000	5%	51
52	旅費交通費						136,870	136,870	141,300	△ 4,430	184,000	74%	52
53	通信運搬費						1,572	1,572		1,572	5,000	31%	53
54	消耗品費						110	110		110		*	54
55	租税公課							0	450	△ 450		*	55
56	支払負担金						38,104	38,104		38,104	37,000	*	56
57	雑費						66,575	66,575	115,599	△ 49,024	107,000	62%	57
58	経常費用計	23,816,282	18,610,432	5,608,817	4,932,697	52,968,228	3,774,661	56,742,889	85,735,268	△ 28,992,379	58,560,000	97%	58
59	評価損益等調整前当期経常増減額	7,906,668	△ 1,140,365	△ 468,774	△ 1,759,345	4,538,184	△ 306,593	4,231,591	△ 1,617,030	5,848,621	1,282,000	330%	59
60	評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*	60
61	当期経常増減額	7,906,668	△ 1,140,365	△ 468,774	△ 1,759,345	4,538,184	△ 306,593	4,231,591	△ 1,617,030	5,848,621	1,282,000	330%	61
62	2. 経常外増減の部												62
63	(1) 経常外収益												63
64	経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*	64
65	(2) 経常外費用												65
66	経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*	66
67	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*	67
68	当期一般正味財産増減額	7,906,668	△ 1,140,365	△ 468,774	△ 1,759,345	4,538,184	△ 306,593	4,231,591	△ 1,617,030	5,848,621	1,282,000	330%	68
69	一般正味財産期首残高							12,622,501	14,239,531	△ 1,617,030	12,622,501	100%	69
70	一般正味財産期末残高							16,854,092	12,622,501	4,231,591	13,904,501	121%	70
71	Ⅱ 指定正味財産増減の部												71
72	受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	△ 389,000	389,000	200,000	*	72
73	受取民間補助金返還額					0		0	△ 389,000	389,000		*	73
74	受取寄附金	0	2,050,000	0	0	2,050,000	0	2,050,000	640,000	1,410,000	200,000	*	74
75	受取寄附金		2,050,000			2,050,000		2,050,000	640,000	1,410,000		*	75
76	一般正味財産への振替額	0	△ 122,600	0	0	△ 122,600	0	△ 122,600	△ 34,107,902	33,985,302	102,000	-120%	76
77	一般正味財産振替民間補助金					0		0	△ 33,993,902	33,993,902		*	77
78	一般正味財産振替寄付金		△ 122,600			△ 122,600		△ 122,600	△ 114,000	△ 8,600		*	78
79	当期指定正味財産増減額	0	1,927,400	0	0	1,927,400	0	1,927,400	△ 33,856,902	35,784,302	△ 102,000	-1890%	79
80	指定正味財産期首残高						0	1,026,000	34,882,902	△ 33,856,902	1,026,000	100%	80
81	指定正味財産期末残高						0	2,953,400	1,026,000	1,927,400	924,000	*	81
82	Ⅲ 正味財産期末残高						0	19,807,492	13,648,501	6,158,991	14,828,501	134%	82

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上根拠及び計上基準
賞与引当金…職員に対して支給する賞与に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上している。当事業年度より計上したため、前年度に比して2,317,949円だけ経常費用が増加している。
退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づき、期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度支給額を控除した金額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式により行っている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的事業積立資産	3,000,000	0	0	3,000,000
介護予防事業外部団体支援積立資産	1,026,000	200,000	122,600	1,103,400
調査研究事業積立資産	0	9,000,000	0	9,000,000
退職給付引当資産	3,187,962	655,550	0	3,843,512
合 計	7,213,962	9,855,550	122,600	16,946,912

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち基金に 対応する額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産					
公益目的事業積立資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)	(0)
介護予防事業外部団体支援積立資産	1,103,400	(1,103,400)	(0)	(0)	(0)
調査研究事業積立資産	9,000,000	(0)	(9,000,000)	(0)	(0)
退職給付引当資産	3,843,512	(0)	(0)	(0)	(3,843,512)
合 計	16,946,912	1,103,400	12,000,000	0	3,843,512

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5,492,660	5,492,656	4
什器備品	11,519,221	9,581,193	1,938,028
ソフトウェア	460,900	230,450	230,450
権利	394,204	45,992	348,212
合 計	17,866,985	15,350,291	2,516,694

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
未収金	7,807,316		7,807,316
合 計	7,807,316	0	7,807,316

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
情報発信事業補助金	東御市	0	5,000,000	5,000,000	0	—
障がい児(者)健康づくり運動支援事業 補助金	東御市	0	350,000	350,000	0	—
障がい児(者)健康づくり運動支援事業 補助金	(福)東御市社会福祉 協議会	0	150,000	150,000	0	—
合 計		0	5,500,000	5,500,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄附金の振替額	122,600
合 計	122,600

8. その他

退職給付関係

- (1) 採用している退職給付制度の概要
確定給付型の制度として退職金規程に基づく退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	10,022,112
② 中小企業退職金共済制度支給額	6,178,600
③ 退職給付引当金(①-②)	3,843,512

(3) 退職給付費用に関する事項

① 中小企業退職金共済制度掛金	720,000
② 退職給付引当金繰り入れ	655,550
③ 退職給付費用(①+②)	1,375,550

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職金規程に基づく退職一時金制度による期末自己都合要支給額から、中小企業退職金共済制度による支給額を控除した金額に相当する金額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表に対する注記2に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の内訳と増減額及び残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	2,317,949	0	0	2,317,949
退職給付引当金	3,187,962	655,550	0	0	3,843,512

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
【流動資産】			
現金		運転資金として	5,000
預金	普通預金 八十二銀行田中支店	運転資金として	1,098,436
	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	1,042,165
	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	2
	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	2
	当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	運転資金として	2,037,567
		＜預金計＞	4,183,172
未収金	東御市	事業収益等未収分	6,678,179
	大塚製薬株式会社他	事業収益等未収分	1,129,137
		＜未収金計＞	7,807,316
流動資産合計			11,990,488
【固定資産】			
特定資産	公益目的事業積立資産	普通預金 八十二銀行田中支店	公益目的事業の積立資金である。 3,000,000
	介護予防事業外部団体 支援積立資産	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益目的事業の積立資金である。 1,103,400
	調査研究事業積立資産	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益目的事業の積立資金である。 9,000,000
	退職給付引当資産	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益目的事業の積立資金である。 3,843,512
		＜特定資産合計＞	16,946,912
その他 固定資産	車両運搬具	車両4台	公益目的保有財産である。 4
	什器備品	パソコン10台、筋力測定器他	公益目的保有財産である。 1,938,028
	ソフトウェア	会計ソフト	公益目的保有財産である。 230,450
	権利	商標権「健脚度」	公益目的保有財産である。 348,212
		＜その他固定資産合計＞	2,516,694
固定資産合計			19,463,606
資産合計			31,454,094
【流動負債】			
	未払金	(福)みまき福祉会他	事業費等未払分 4,956,045
	預り金	役職員他	源泉所得税等 529,096
	賞与引当金	職員	職員6名に対する6月賞与の支払いに備えたもの 2,317,949
流動負債合計			7,803,090
【固定負債】			
	退職給付引当金	職員	職員2名に対する退職金の支払いに備えたもの 3,843,512
固定負債合計			3,843,512
負債合計			11,646,602
正味財産			19,807,492

令和6年度 ご寄附者報告

公益財団法人身体教育医学研究所

1. 寄附金

	寄附採納 受付年月日	贈与者氏名（敬称略）	金額	備考
1	R6.4.5	土井 修一	574 円	太陽光発電料金相当（R5.10～R6.3月分）
2	R6.9.30	一般財団法人 浅間山麓スポーツ医学研究所	1,164,212 円	法人事業全般に対する寄附
3	R6.11.12	一般社団法人 健康福祉広域支援協会	200,000 円	介護予防事業外部団体支援に対する寄附
4	R6.12.28	戸部 渉	10,000,000 円	法人事業全般に対する寄附
5	R7.1.6	東御ライオンズクラブ	50,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
6	R7.1.6	ライオンズクラブ国際協会334-E地区4R 1Z 4リジョン1ゾーン・ゾーン・チェアパーソン山崎康一	104,747 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
7	R7.1.30	有限会社加藤自動車板金工業	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
8	R7.1.30	株式会社小池自動車硝子店	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
9	R7.2.13	株式会社竹花組	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
10	R7.2.14	株式会社タック	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
11	R7.3.10	有限会社御菓子処花岡	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
12	R7.3.11	株式会社岡田組	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
13	R7.3.11	メカティック	50,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
14	R7.3.11	有限会社テールマウンテン	75,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
15	R7.3.11	株式会社白倉ファーム	75,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
16	R7.3.12	株式会社東部設備	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
17	R7.3.19	株式会社長野三洋化成	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
18	R7.3.21	株式会社馬場音一商店	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
19	R7.3.24	東信日軽株式会社	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
20	R7.3.31	株式会社アズマ	150,000 円	パラスポーツ教育プログラムの構築
			13,369,533 円	

監 査 報 告 書

公益財団法人身体教育医学研究所

代表理事 田丸 基廣 様

令和7年5月26日

公益財団法人身体教育医学研究所

監事 い、林 経典

監事 堀内 和子

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からのその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。その方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。